

令和2年度 十日町市当初予算案



目指すまちの姿

「選ばれて 住み継がれるまち とおかまち」

第2次十日町市総合計画基本計画

基本方針4つの柱

人にやさしい
まちづくり

安全・安心な
まちづくり

活力ある元気な
まちづくり

まちづくりの推進に向けて

令和2年度 一般会計予算案

令和2年度 一般会計総額

358億2,000万円

前年度対比 +6億2,000万円
+1.8%

（借換債を除く）
+9,610万円
+0.3%

令和2年度 一般会計・特別会計予算案

総額

499億3,920万円

前年度対比 + 7億8,410万円 + 1.6%

国保	: 51億8,000万円	△3億5,000万円
診療所	: 1億7,950万円	+ 800万円
後期	: 6億6,600万円	+ 5,600万円
介護	: 80億8,200万円	+ 4億5,000万円
温泉	: 1,170万円	+ 10万円

※簡易水道事業及び下水道事業は企業会計へ移行

健全な財政運営の取組

● 公共施設等総合管理計画の着実な推進

・ 借地の解消及び遊休施設の解体等による経常経費の削減

《令和元年度》

妻有焼陶芸センター、薬師プレーランド、湯処よーへり
など8施設の解体及び廃止により1,928万円の削減



《令和2年度》

旧中央給食センター（一部）

旧中条中教員住宅

旧野中小教員住宅

水沢保育園

旧名ヶ山小学校

旧中条地区教員住宅

旧貝野公民館分館

岩野山運動広場

青少年運動広場

旧浦田小学校（借地買収）

旧八箇小グラウンド

（借地返還）



旧野中小教員住宅

以上、11施設の解体等により年間の維持管理費493万円の削減

健全な財政運営の取組

● 財政調整基金の適正管理

- ・ 財政調整基金は、災害や大雪など緊急時の臨時的財源として32億円を目標に管理
⇒令和元年度は少雪により3月補正予算にて約6億円の積み戻しを実施
- ・ 財政調整基金を、一時的に増加する経費のみに繰入れを行うことで、真に必要な経常サービスへの影響を抑え、年度間の財政調整を図る

● 新たな時代への転換

- ・ 当初の目的を達した事業、効果が薄まった事業などを時代に合わせて見直し



・ 直面する喫緊の課題への再配分

- 人にやさしいまちづくり (新規5、 拡充4)
- 活力ある元気なまちづくり (新規17、 拡充11)
- 安全・安心なまちづくり (新規4、 拡充2)
- まちづくりの推進に向けて (新規2)

・ 会計年度任用職員制度の導入

非常勤職員の適正な任用と勤務条件の確保



保育・幼児教育の充実

● 認定こども園の建設を支援します。

(継続) 3億1,205万円

- ・ 認定こども園の「愛宕幼稚園」と「むつみこども園」の建て替えを支援
- ・ 新園舎建設に対し、2億9,346万円を補助
- ・ 水沢保育園との統合に伴い新園舎を建設した森の保育園の旧園舎の解体工事に対し、1,859万円を補助



【園舎の建て替えを予定する愛宕幼稚園】

■ 民営化する千手さくら保育園の園舎を改修します。

(継続) 1,921万円

- ・ 公立保育園を民営化し、令和2年度から、新たに認定こども園「千手さくら保育園」がスタート
- ・ 引き継ぐ園舎を改修



【むつみこども園新園舎のイメージ図】

子育て支援の充実

● 子どもの医療費の助成を拡充しま す。 (拡充) 1億2,612万円

- ・ 令和2年9月1日から、小学校入学前までの子どもを対象に **通院時の一部負担金530円を新たに「無償化」**
- ・ 引き続き、高校卒業までの子どもを対象に、入院費を全額助成、通院費の一部負担金530円を超えた全額を助成



● 児童センター屋外施設がオープン します。 (継続) 7,240万円

- ・ 令和元年9月に着工した児童センター屋外施設の工事を継続
- ・ **オープン**は令和2年7月
- ・ 屋外施設の特徴は、子どもたちが自由に思い切り遊べる広々とした芝生広場
- ・ 配置する大型遊具などは、そりゲレンデ・ふわふわドーム・健康遊具



【屋外施設のイメージ】

人にやさしいまちづくり (1) 安心して子供を産み育てられるまち
妊娠・出産に関する支援の充実

● 令和2年度 十日町市予算案 ●

● 不育症治療費を助成します。

(新規) 20万円

- ・ 不育症治療に係る費用を1/2助成 (上限額10万円)
(夫婦の合計所得が730万円以上の場合は上限額5万円)
- ・ 【助成回数】 夫婦1組につき通算6回を上限
(妻の年齢43歳未満)

● 新生児聴覚検査費用を助成します。

(新規) 10万円

- ・ 新生児聴覚検査に係る費用を1/2助成 (1人2回まで)
- ・ 【対象】 新生児が属する非課税世帯
(令和2年4月1日生まれ以降の児)

● ロタウイルス予防接種を始めます。

(新規) 450万円

- ・ 令和2年10月1日からロタウイルス予防接種を無料で実施
- ・ 【対象】 令和2年8月生まれ以降の児



教育環境の充実

● 令和2年度 十日町市予算案 ●

● 計画的に学校施設を整備します。 (継続) 6,136万円

- ・ 小学校施設整備事業：東小学校体育館屋根塗装 (ほか)
- ・ 中学校施設整備事業：十日町中学校ボイラー等更新 (ほか)
- ・ 中学校施設省エネ化事業：南中学校体育館照明改修 (ほか)



■ 教育財産の整理を進めます。 (継続) 1億2,512万円

- ・ 教員住宅解体事業：中条地区教員住宅の解体、借地解消
- ・ 小学校施設解体事業：旧名ヶ山小学校の解体、借地解消
旧浦田小学校、旧八箇小学校の借地解消



教育環境の充実

● 令和2年度 十日町市予算案 ●

● 学級経営を支援します。

(新規) 77万円

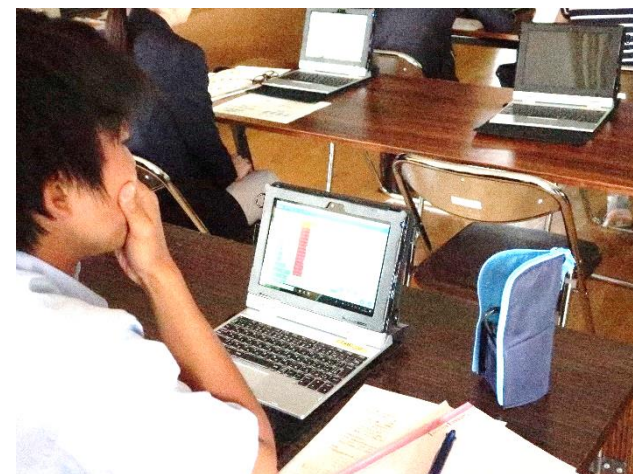
- ・ 学力向上の基礎となり、不登校を抑制する安定した学級経営を行うための支援を実施
- ・ 学級の状態や児童生徒一人一人の状態を把握するため、パソコン入力によるアンケート (WEBQU)を小4及び中1生に実施し、スピーディーな分析と活用を図る



● プログラミング教育に対応します。

(新規) 72万円

- ・ 令和2年度から全面実施となる新学習指導要領を踏まえ、小学校においてプログラミング的思考を育てる教材、ソフトウェア経費 (教員研修は令和元年度から対応)



教育環境の充実

● 令和2年度 十日町市予算案 ●

● 中学校部活動指導員を配置します。

(拡充) 504万円

- ・ 専門的な技術指導のできる部活動指導員を配置し教師の多忙化解消、生徒の競技力等向上を支援

令和元年度：十日町中・南中・川西中・中里中・下条中（5校：5人）

令和2年度：十日町中・南中・川西中・中里中・下条中・松代中・松之山中（7校：10人）



■ 小中学校の指導力向上を支援します。

(継続) 975万円

- ・ 毎年増加する若手教員、欠員補充講師の指導力を向上させるため教員OBを非常勤指導主事として5名任命し、指導・研修を実施



教育環境の充実

● 令和2年度 十日町市予算案 ●

■ 英語教育を推進します。

(継続) 3,015万円

- ・令和2年度～小学校3・4年生外国語活動、5・6年生外国語科の実施のため、教育センター内の英語教育推進チームで特に小学校教諭を対象とした外国語指導力向上に資する研修及び小中学生を対象とした英語教育に係る事業
- ・ネイティブスピーカーによる外国語授業および国際理解教育のためのJET-ALTの配置 (5名)

■ 小中一貫教育及びコミュニティ・スクールを推進します。

(継続) 435万円

コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を推進

- ・義務教育期間9年間を通して学校と地域が連携し、社会総がかりで、児童生徒を育てる視点
- ・小中学校の円滑な接続、効率的な学習指導、生徒指導の体制を確立
- ・学校運営協議会での協議等を通じた学校運営への参画



教育環境の充実

● 令和2年度 十日町市予算案 ●

● 特別支援教育の充実に向け、取組の強化を継続します。

(拡充) 8,950万円

- ・専任の非常勤指導主事、特別支援教育相談員を配置し、子ども一人一人の適性と状態に見合った対応を実施
- ・市立学校の特別な支援を必要とする児童生徒の在籍する学級へ教育支援員を配置 (52名)
- ・市内で児童精神科の診療を行っている医療機関へ補助
- ・市立ふれあいの丘支援学校と県立川西高等支援学校との中高連携事業によるキャリア教育等の拡充

■ 教育相談・不登校児童生徒への対応を推進します。 (継続) 1,864万円

- ・教育相談センターにおいて相談機能の充実及び不登校児童生徒の在籍校復帰への適応指導を実施
- ・不登校児童生徒対応のためのスクールソーシャルワーカーを配置
- ・中学校3校に別室登校指導員(教員免許保有者)を配置した別室登校指導室を設置し、在籍学校で自学級復帰に向けての適応指導を実施



教育環境の充実

● 令和2年度 十日町市予算案 ●

■ 給食センターの設備を改修します。

(継続) 4,499万円

学校給食センターの計画的設備更新

- ・水沢給食センター:蒸気ボイラー・自動ドア・厨房機器更新
- ・十日町給食センター:蒸気ボイラー更新、エアコン新設



■ 安全・安心な学校給食を提供します。

(継続) 3億8,956万円

- ・給食センター5施設、自校給食校5校での経常的な経費
- ・学校給食法の衛生管理基準等に基づく衛生管理にかかる経費
- ・給食公会計にかかる給食材料費等の経費



福祉のまちづくりの推進

■ 生活に不安や困りごとを抱えている方の自立を支援します。

(継続) 1,871万円

・相談受付、ハローワークなどへの同行訪問を通じて、失業や債務問題、働きたくても働けないなど生活に困っている人の早期支援、自立支援の実施

・ひきこもり支援に関する情報発信、居場所づくり、サポーターの派遣を通じて、ひきこもり状態にある人の早期支援、自立支援の実施



障がい者福祉の充実

● 令和2年度 十日町市予算案 ●

● タクシー利用券の利用の範囲を 拡充します。

(拡充) 620万円

- ・ 重度の障がいのある人に交付しているタクシー券の利用の範囲を、NPO法人などが行っている「福祉有償運送」も利用可能



■ 障がい者グループホームの開設を 支援します。

(継続) 400万円

- ・ 障がいがある方が地域での生活するためのグループホームを建設する法人等に対し、建設費用の一部を補助
(1棟に対し、補助上限額200万円)



怒涛の人の流れの創出

● 体験型観光誘客の促進を図ります。

- 豪雪体感インバウンド事業 (継続) 3,300万円
→商談会への出展・ツアー造成と、着地型体験ツアーの推進
- 関係人口拡大事業 (新規) 8,050万円
→**棚田バンク**や**三省ハウス**を活用した協働による地域活性化
→**冬季主要イベント**の相互連携・一体的PRの実施

■ 「大地の芸術祭の里」ブランド化を推進します。

- 2021年に開催する「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2021」に向けた開催準備などを展開
(継続) 1億500万円
- 大地の芸術祭の里としてのブランド力に磨きをかけ、四季ごとの集中期間に誘客の核となるイベントや展覧会等を開催
(継続) 1,840万円



怒涛の人の流れの創出

● 松代青少年研修センターを体験型観光とインバウンド等に対応した宿泊施設に改修します。

- 松代地域の棚田での体験型観光や大地の芸術祭のサポートなどインバウンド等にも対応した**宿泊施設（ゲストハウス）**として整備

(新規) 1億4,210万円

● 道の駅「まつだいふるさと会館」を環境に配慮した施設に改修します。

- 道の駅「まつだいふるさと会館」のボイラー施設等の更新に併せ**地中熱・太陽光の再生可能エネルギー設備の導入整備**

(新規) 2億1,800万円



怒涛の人の流れの創出

■ 中心市街地活性化を推進します。

(継続) 3,252万円

- ・ まちなかステージ施設の指定管理
「分じろう」「十じろう」及び「立体駐車場」の適切な管理と円滑な運営を行うことにより、協働のまちづくりや中心市街地の活性化を推進

【協働のまちづくり推進事業】

- ・ NPO及び市民活動団体支援（相談窓口、助成金）
- ・ 市民交流事業（こどもまつり、まちなか×GAKUENSAI、めっかめっか等）の実施

【中心市街地及び地域全体の活性化事業】

- ・ とおか市、花と緑の展示会、情報誌発行、まちなかネクストステージの取組み等

【まちなかステージ施設の維持管理運営】



分じろうでの「とおか市」の様子



「まちなか×GAKUENSAI」の様子

活力ある農林業の支援

令和2年度 十日町市予算案

● 意欲ある担い手の農業経営を支援 します。 (拡充) 2,100万円

- ・ **スマート農業機械**の導入を支援 (新規)
- ・ 経営強化のため**大型特殊免許取得**を支援 (新規)
- ・ 新規就農者の経営の基礎づくりを支援
- ・ 認定農業者の機械整備等を支援

■ 中山間地の基盤強化を図ります。 (継続) 5億9,230万円

- ・ 中山間地での基盤整備
区画整理、ため池工、用水路工、農道工、魚道工、揚水機工等
- ・ 中山間地域等直接支払交付金
条件不利地での担い手育成等を伴う農業生産維持活動を支援



活力ある農林業の支援

令和2年度 十日町市予算案

● 園芸産地化を支援します。

(拡充) 300万円

- ・園芸産地化への栽培面積拡大を支援 県やJ A等と連携し「かぼちゃ」「ネギ」の栽培拡大支援 (新規)
- ・複合営農促進のため専用機械等の整備を支援



● 鳥獣被害対策の担い手を育成します。

(拡充) 93万円

- ・有害鳥獣駆除の担い手育成支援 近年増加する大型獣被害を防ぐため、担い手の狩猟免許取得費用 (継続) やライフル銃の新規取得費用等 (新規) を補助



■ 森林整備を推進します。

市有林・市行造林の整備 (34.9ha) (継続) 4,521万円

- ・カーボンオフセット事業 (調査・検証) 森林整備による二酸化炭素吸収量をクレジットとして販売
- ・「森林環境譲与税」を活用した森林整備等

地域に活力を生む地域経済の強化

■ 企業の設備投資と新規雇用を支援します。 (継続) 1億6,524万円

- ・企業の設備投資と雇用の増加に対して、各種支援措置により幅広くフォロー（雇用促進奨励金、事業用地取得費助成金、大規模企業立地促進奨励金など）

◎企業設置奨励事業 ◎企業投資促進事業

● 手厚い新規創業・新分野進出支援に取組みます。 (拡充) 1,355万円

- ・定期創業相談、創業セミナーの実施 (拡充)
- ・経営相談・販路開拓等、創業後のフォローアップ (新規)
- ・新規創業や新分野進出を目指すビジネスプランの審査会を開催 (新規)
- ・創業者向け貸事務所（インキュベーションオフィス）を提供 (継続)



地域に活力を生む地域経済の強化

■ 十日町産品の販路拡大を支援します。

(拡充) 3,310万円

- ・ クロステンの地域商社化を図り、ミッション型地域おこし協力隊を活用するなどして、市内小規模事業者や特産品の販路拡大を支援
- ・ 友好都市や交流都市との地域間交流及び連携を通じた販路拡大をクロステンに業務委託 (新規)
- ・ 十日町きものの販路拡大を目的とした事業・団体を支援

■ 産業を切り口としてにぎわい創出と魅力発信を図ります。

(継続) 1,791万円

- ・ 工場見学イベント「十日町きものGOTTAKU」への支援
- ・ 市内の中高生が地域の企業産業について学ぶ「まちの産業発見塾」を開催
- ・ 商工業や地域の振興・発展に寄与する活動や、商店街の連携活性化を目的としたにぎわい創出事業への助成



生涯学習の推進

● 令和2年度 十日町市予算案 ●

■ 子ども・若者の心を育む環境を充実します。

(拡充) 272万円

- ・ 信濃川ラフティング体験事業
- ・ アドベンチャースクール事業
- ・ 通学合宿事業
- ・ 家庭教育事業(なかよしランド) など



● 公民館の施設整備を行います。

(継続) 2,870万円

- ・ 下条公民館の耐震補強工事を実施し、**施設を耐震化**
- ・ 中条公民館、下条公民館、水沢公民館の**施設照明をLED化**



生涯学習の推進

令和2年度 十日町市予算案

● 情報館の施設改修と資料の充実を図り、利便性を高めます。

(拡充) 1億4,246万円

- ・ 駐車場の改修・増設、照明のLED化、トイレの改修
- ・ 東京2020オリ・パラ関連図書の購入
- ・ 高齢者、障がい者向けの優しい図書の充実



■ キョロロの子どもたちの自然体験学習の機会を充実させます。

(拡充) 363万円

- ・ 「森のようちえん事業」では幼児向け自然体験イベントや保育園出張型自然体験活動を、市内保育園や民間団体と連携し実施
- ・ 生体、標本、パネル展示に加え、新たな展示手法として75インチの大型タッチパネルディスプレイを導入（企画展事業）
- ・ 里山の自然や文化に触れあう豊富な体験イベントを実施（体験イベント事業）



文化芸術活動の充実

● 令和2年度 十日町市予算案 ●

● 文化芸術の振興を図るため、多彩で親しみやすい公演を開催します。

(継続) 1,853万円

- ・ 自主事業の開催や他団体との共催事業
- ・ ものまねエンターテイメント コロツケコンサート2020
- ・ 劇団四季ファミリーミュージカル『人間になりたがった猫』
- ・ 梅沢富美男劇団公演 など



● 「越後妻有文化ホール・中央公民館 段十ろう」の施設管理を指定管理者制度に移行します。

(新規) 6,855万円

- ・ 施設の維持管理や申込みを委託し、利用者の利便性を図る



文化財の保護と活用

● 令和2年度 十日町市予算案 ●

● 6月に新博物館をオープンします。

(新規) 457万円

- 令和2年6月1日オープン予定
- 展示室は、導入年展示室から続く「縄文時代と火焰型土器のクニ」、「織物の歴史」、「雪と信濃川」の3つのテーマ展示から構成
- プロジェクションマッピングなど最新の技術を使って、十日町市の歴史と文化を分かりやすく展示



■ 新博物館において多彩な展示を行います。

(拡充) 504万円

- 開館記念企画展として、国宝・笹山遺跡土器の57点すべてを一堂に展示
- 秋には、縄文時代の日本遺産をテーマにした企画展を実施
長野・山梨県内から、国指定文化財の出土品を借用予定
- 十日町市博物館ならではの講演会などの実施



文化財の保護と活用

● 令和2年度 十日町市予算案 ●

● 生きた歴史体感プログラムを実施 します。

(新規) 210万円

- ・令和元年度文化庁補助事業「Living History (生きた歴史体感プログラム)」を活用し、縄文レストランや縄文衣服、弓矢の体験メニューなど、**縄文文化をトータルに体感できるツアープログラムの実施**



● 国指定史跡「田沢・壬遺跡」の保 存活用計画を策定します。

(新規) 206万円

- ・令和元年度に国指定史跡になった「田沢・壬遺跡」の保存活用を図るため、文化庁の補助金を活用し、**保存活用計画を策定。**
- ・縄文時代草創期の貴重な遺跡群の保存と整備・活用策について総合的に検討。令和2年～3年度の2か年継続事業



スポーツ活動の推進

令和2年度 十日町市予算案

● 松之山体育館等の施設改修を行います。

(新規) 1億2,660万円

- ・昭和55年に建設され、市指定避難所に指定されている松之山体育館の耐震化工事、LED化工事を実施
- ・総合公園テニスコートの人工芝一部張替工事を実施

● 東京2020オリ・パラ関連事業に取り組みます。

(新規) 4,375万円

- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に出場するクロアチア共和国選手団6種目（柔道、空手、テコンドー、陸上、射撃、自転車）の事前キャンプを実施
- ・オリンピック聖火リレー、パラリンピック採火式を実施
- ・オリンピック、パラリンピックに出場する市ゆかりの選手の応援イベントを実施



中山間地域対策の強化・充実

■ 地域おこし協力隊の取組をさらに推進します。

(継続) 4,000万円

- ・ 高齢化集落の維持・機能存続のために、都市部の意欲ある外部人材を「地域おこし協力隊」として委嘱
- ・ 隊員の活動をサポートし、地域と隊員とのつなぎ役として、意欲のある地域団体に委託し、取組内容を向上
- ・ 退任者の約68.5%が配置地区の支援を受けて市内に定住
※同一市町村定住の全国平均は50.8%



移住・定住の促進

● 「わか者・女性・子育て世代のジモト回帰」を促進します。

(新規) 1,680万円

「18歳～22歳の若者の転出」「市内の若年女性の減少」という課題解決に向け、教育機関、事業所、地域住民との協働により、わか者・女性・子育て世代のUターンや、定住を促進するプロジェクトを新たに展開 (地方創生推進交付金活用)

【主な事業内容】

- ・ 地元高校向けキャリア教育、大学と連携したUターン促進
- ・ 女性向け企業紹介ウェブサイトの構築
- ・ 女性、子育て世代の就業環境整備の支援
- ・ 集落単位の人口推計資料作成、住民との共有
- ・ Uターン促進のための情報媒体の作成



移住・定住の促進

● 定住促進補助によりUIターン世帯・ 定住女性を応援します。

(拡充) 870万円

- ・十日町市にUIターンした世帯に対して最大40万円を補助、
住宅を取得する場合に最大60万円を補助

【要件の拡充】 十日町市内の女性が、市外からの転入者と結婚後、
引き続き市内に定住する場合も支援対象

【メニューの拡充】 UIターン後の通勤手段の確保支援
(運転免許取得費・通勤費の助成)



定住促進助成
事業交付実績
(H26.4月～
R1.12月)

移住世帯数

移住者数

子どもの増加数

102世帯

365人

168人

防災体制の充実

● 防災行政無線の整備を進めます。 (継続) 6億8,068万円

- ・「暮らしの安全・安心」確保のため、災害時における迅速・正確な緊急情報や避難情報の情報伝達を行うことを目的とした、デジタル同報系防災行政無線を整備
- ・事業期間 = 平成30~令和2年度
令和2年度は、主に未整備の十日町地域の屋外スピーカー設置と戸別受信機を配布
整備が完了した地域から運用を開始し、令和3年4月から全地域運用開始



屋外スピーカー



戸別受信機

防災体制の充実

【十日町地域広域事務組合事業】

● ヘリコプター場外離着陸場を整備 します。 (継続) 2億1,571万円

- ・ 増加するドクターヘリや消防防災ヘリコプターの安定的な離着陸が可能となるほか、万が一の大規模災害時には、自衛隊機等の航空活動拠点として活用



【十日町地域広域事務組合事業】

■ 救急自動車を計画的に更新します。 (継続) 3,537万円

- ・ 十日町地域消防署しづみ分署の救急自動車を更新し、松代・松之山地域の救急要請に対応
- ・ 車両とともに搭載資機材を最新のものとするこで、救急体制を充実・強化



健康づくりの推進

● とおかまち健康ポイント事業を 行います。 (継続) 70万円

- ・ 運動習慣の少ない40歳から64歳の働き盛り世代の市民200人を募集し、**健康づくりの意識向上と運動習慣の定着化を推進**
- ・ 市内運動施設の利用、検診の受診、自己運動（ウォーキング等）、体脂肪量や筋肉量の改善成果などにポイントを付与
- ・ 500ポイント到達者には十日町市カタログギフトを贈呈



令和元年度 ポイント上位者

■ 風しんの追加的対策を行います。 (継続) 1,362万円

- ・ 風しんの抗体保有率が低い世代の男性（S37.4.2生まれからS54.4.1生まれ）を対象に、抗体検査及び予防接種を無料で実施
- ・ 風しんは妊娠中の女性が感染すると、おなかの赤ちゃんに先天性の障がいが出ることもあるため、地域全体で風しん予防の取組を推進



地域医療の充実

● 4月に医療福祉総合センターがオープンします。

(継続) 4,704万円

- ・新潟大学寄附講座による「持続可能な地域医療体制」の仕組みづくり
- ・医療と福祉の連携を推進し、地域包括ケアシステムの実現に向けた拠点機能
- ・休日一次救急診療センター機能
- ・県立十日町看護専門学校

● 県立十日町看護専門学校に通う学生を支援します。

(新規) 150万円

- ・県立十日町看護専門学校に通う学生に対し、家賃補助として最大12万円、通学費補助として最大3万円を支援



再生可能エネルギーの活用

● 本庁舎や学校へ太陽光発電＋蓄電池設備を導入するための調査をします。

(新規) 750万円

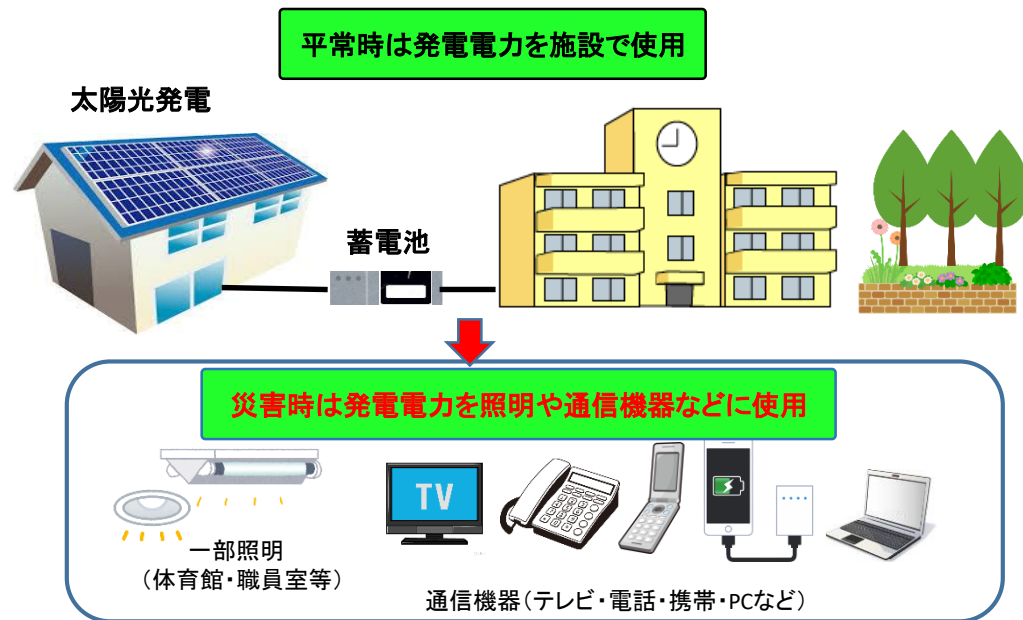
- 本庁舎や指定避難所である小中学校への省エネ及び災害時の非常用電源としての活用を目的とした太陽光発電＋蓄電池設備導入の調査



本庁舎 (南側)



千手小学校



整備イメージ

再生可能エネルギーの活用

■ 水力発電事業を推進します。

(継続) 700万円

- ・ JR東日本信濃川発電所宮中取水ダムから放流される維持流量を活用した水力発電に必要な調査、設計等業務委託



JR東日本信濃川発電所宮中取水ダム

■ 再生可能エネルギーを活用した設備の普及を図ります。

(継続) 1,120万円

- ・ 一般家庭や事業所の太陽光発電、地中熱利用、木質バイオマスストーブ等の設置費用に対する補助



融雪機能付き太陽光パネル

低炭素・循環型社会の推進

● 松代海老地区に次期一般廃棄物 最終処分場を建設します。

(継続) 7億2,026万円

【事業期間】 令和元年度～令和4年度

令和2年度事業

- ・ 処分場本体工事(造成、掘削工事ほか) (継続)
- ・ 処分場本体工事設計施工管理業務委託 (継続)
- ・ 簡易水道給水管布設工事

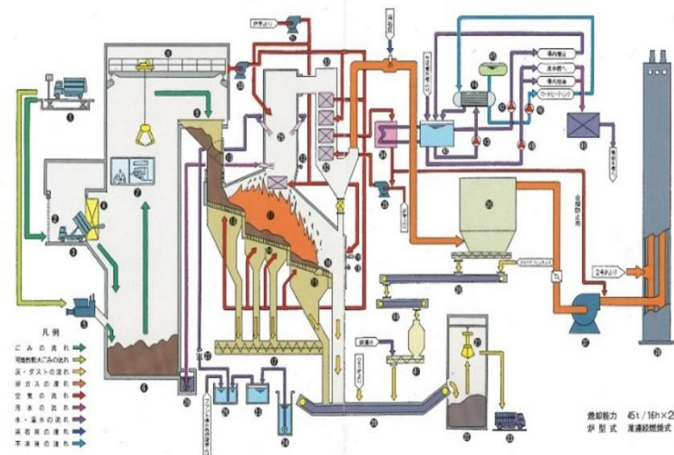


■ ごみ焼却施設の補修を実施します。

(継続) 1億円

十日町市エコクリーンセンター (ごみ焼却施設) 点検整備工事

- ・ 1・2号炉耐火物補修工事
- ・ 空気予熱器点検整備工事
- ・ 火格子・下部ホッパ点検整備工事
- ・ 消石灰定量供給機整備工事ほか



十日町市エコクリーンセンターのしくみ

道路網の整備

● 安全・安心な「みちづくり」を 継続して進めます。

(継続) 9億1,830万円

整備路線：新規路線を含め 27路線

改良延長 L=2,790 m

歩道整備延長 L= 300 m

● 各地域の主な路線

稲荷町線（踏切含む）、木島伊友線、
干溝市之越線、松代海老東山線、浦田松之山線

● 上沼道十日町道路へのアクセス道路整備

高山水沢線関連事業の推進



整備前



整備後

■ 橋梁・トンネルなどの点検や道路 舗装の修繕を進めます。

(継続) 1億9,477万円

- ・ 橋梁点検 70橋、橋梁修繕 8 橋、大規模舗装修繕 8 路線ほか



東川上鰯池線道路橋の橋梁点検

橋梁修繕箇所：天池橋、沢田橋、第1岩野橋、蕪棚橋
千手川2号橋、木島川5号橋、新曾根橋
観音寺橋

大規模舗装修繕路線：城ヶ丘線、川治昭和町線
山野田木島線、浅河原新町新田線
東田沢2号線、清田山線
松代海老東山線、浦田松之山線



修繕した双倉橋（倉下土倉線）

上下水道の整備

● 清津峡地区へ水道を整備します。

(継続) 1億5,312万円

水道未普及地域の解消事業

【事業期間】 令和1～6年度

【対象地域】 清津峡地区 (小出, 角間, 葎沢)

- ・ 実施設計 (配管、配水池、水管橋ほか) N = 1式
- ・ 送水管整備 (程島～東田尻) L = 1,700m



■ 老朽管の更新と耐震化を進めます。

(継続) 3億7,546万円

- ・ 配水管更新 市内全域 L = 3,472m
- ・ 耐震管布設 (送水管) 城之古第2地内 L = 480m
- ・ 耐震管布設 (配水管) 霜条地内ほか L = 610m



上下水道の整備

■ 下水処理場の施設更新を進めます。

(継続) 9,200万円

【事業期間】平成30～令和6年度

令和2年度事業

- ・ 汚水ポンプ改築工事
- ・ 空調設備改築実施設計委託
- ・ 下水処理場耐震補強計画 (機械電気)



十日町市下水処理センター

● 下島地区の浸水対策を進めます。

(継続) 5,800万円

【事業期間】平成26～令和4年度

令和2年度事業

- ・ 中海雨水幹線 バイパス管整備 L=20m
※供用開始予定：令和2年12月
- ・ 高田雨水幹線 管渠布設工事 L=90m
※供用開始予定：令和4年12月



豪雨による浸水被害 (H25.8)

上下水道の整備

● 農集：上野・元町新町地区を川西特環に接続します。

(継続) 8,000万円

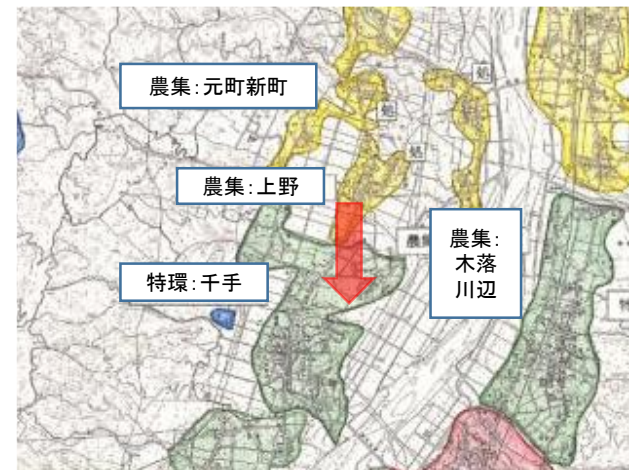
【事業期間】 H29年度～令和2年度

令和2年度事業

- ・管渠布設工事 L=230m
- ・マンホールポンプ設置 4基

農業集落排水区域の上野・元町新町地区を川西特環公共下水道区域に接続することで、老朽化した汚水処理場を廃止し、維持管理費の低減と施設管理の効率化を図る

※接続完了予定：令和2年12月



生活交通の維持確保

● 川西地域（仙田地区）で市営バスの運行を開始します。

(新規) 1,096万円

- ・ 路線バス廃止に伴い、小中学生の通学と一般住民混乗による市営バスを4月から運行
- ・ 対象集落は、路線バス廃止により、交通空白地となる7集落（中仙田・室島・赤谷・岩瀬・大白倉・小白倉・元町）

運行区間	仙田地区 ⇄ 上野・千手地区（終点：川西支所） 市街地へ移動する場合、支所で路線バスに乗換
運行回数	平日：6.5往復/日、土休日：2.5往復/日 年末年始を除き、毎日運行
運賃	200円/回 元町～川西支所間は100円/回 ※中学生以下無料、障がい者等対象者は半額
停留所	各対象集落及び上野小学校、上野、川西中学校、診療所、川西支所に専用の停留所を設置



住宅・公園等の整備

■ 公営住宅の改修を推進します。

(継続) 9,166万円

- ・市営谷内丑住宅の屋上防水改修+外壁改修
- ・市営善宗塚住宅の浴室(ユニットバス化)、トイレ等改修

<谷内丑住宅 外壁劣化部>



(改修前)

(改修後)

● 公園施設の省エネルギー化を推進します。

(新規) 439万円

- ・公園にある既存の街灯をLEDタイプに更新
- ・トイレの和式便器を節水型の洋式便器に更新



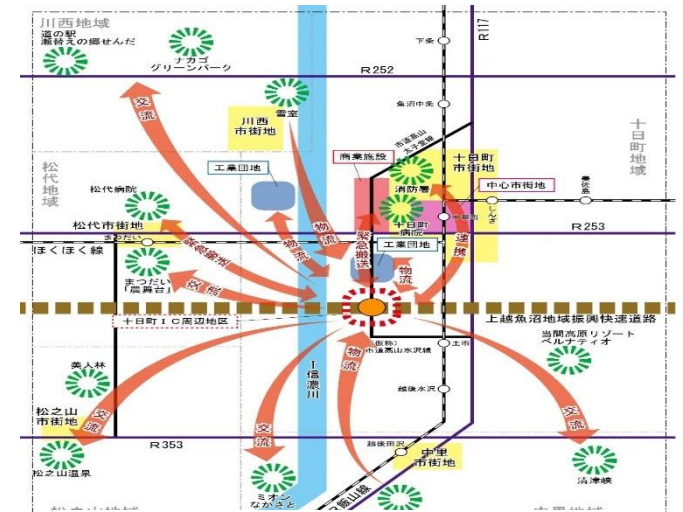
緑道の街灯

公園のトイレ

● 計画的な土地利用を推進します。

(拡充) 1,393万円

- ・ 検討が進められている上越魚沼地域振興快速道路 (仮称) 十日町 I C 周辺の土地利用基本計画を策定 (新規)
- ・ 社会情勢等の変化により長期にわたり事業化されていない都市計画道路の見直しを実施



(仮称)十日町IC周辺の土地利用イメージ

● 地籍調査を推進します。

(拡充) 5,683万円

- ・ 中心市街地内の令和3年度完了を目指し、西本町3及び下島地区の地籍調査を実施
- ・ 未実施の松代地域に着手 (新規)



松代計画区

冬期間の交通の確保

■ 冬期間の安全・安心な交通確保を 図ります。 (継続) 14億2,731万円

- ・市道の除排雪にかかる経費、機械除雪延長約480km
- ・認定外道路の除排雪にかかる経費の助成事業
- ・流雪溝の管理運営にかかる経費
- ・雪処理助成事業



■ 除雪車を計画的に更新します。 (継続) 1億5,004万円

- ・ロータリー除雪車3台、タイヤドーザ1台



冬期間の交通の確保

■ 消雪パイプの更新、整備を進めます。

(継続) 1億4,040万円

- ・ 消雪パイプ更新 西寺町線ほか 井戸掘替え 3箇所
- ・ 消雪パイプ整備

四日町新田新座線	メインパイプ布設	L=170m
西本町1丁目2号線	メインパイプ布設	L=100m



■ 流雪溝の整備を進めます。

(継続) 2億5,740万円

- ・ 十日町地域川治地区、川西地域の流雪溝整備 L=670m
- ・ 西本町地区流雪溝揚水機場整備



克雪・利雪対策の充実

■ 屋根の雪下ろし時による転落事故等を防ぎます。 (継続) 75万円

戸建住宅等の屋根雪下ろし時の転落を防止するための設備設置
工事費の一部を助成

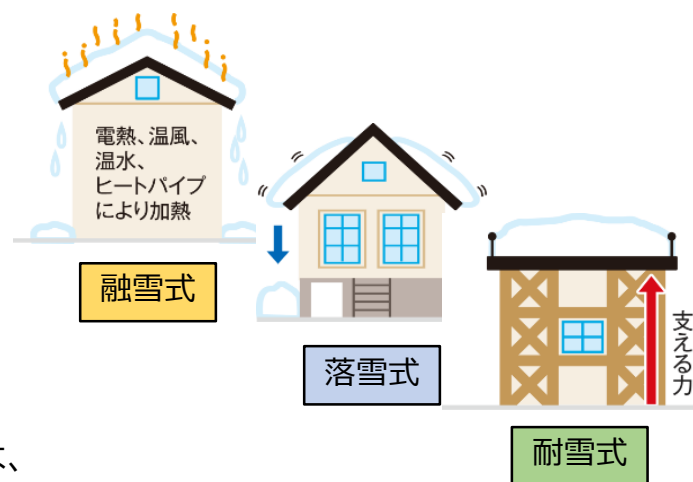
- ◆補助率：工事費の50%
- ◆補助上限額：5万円（ただし、要援護世帯は10万円）



■ 住宅の克雪化を推進します。 (継続) 2,266万円

人力による雪下ろしなど住宅の屋根雪処理に伴う過大な負担と危険の軽減、冬期の居住環境の改善を図るために、住宅の克雪化工事費の一部を助成

- ◆補助上限額：融雪式・・・44万円
- 耐雪式、落雪式・・・33万円
- ※ 中心市街地活性化区域内で融雪、耐雪式の場合は、最大22万円上乗せ
- ※ 要援護世帯の場合は最大11万円上乗せ



地域自治の推進

● 地域自治推進事業交付金を柔軟に活用できるようにします。

(継続) 6,387万円

- ・ 行政との協働により、それぞれが持つ特性を活かした地域づくりを行う組織として平成24年度からスタート
- ・ 市は、交付金の交付や、事務補助のための人的支援を行うなど、その活動をサポート
- ・ **使い道が指定されていた基礎事業や人件費の枠組みを外し、地域自治組織の実情に合わせた事業展開が可能**



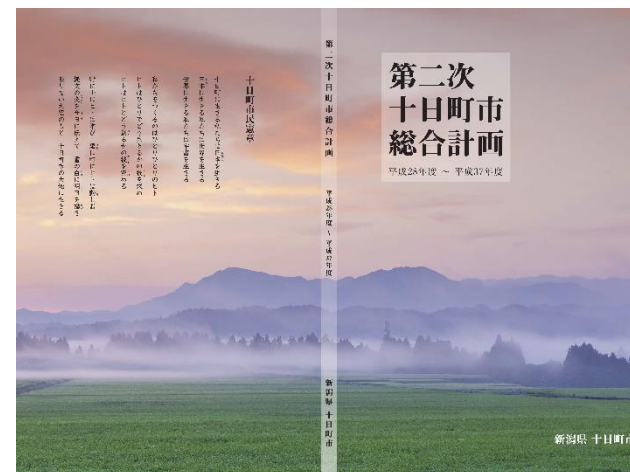
● 市政運営の羅針盤となる「後期基本計画」を策定します

(新規) 6,000千円

令和3年度から7年度までの5年間を計画期間とし、「選ばれて 住み継がれるまち とおかまち」を目指して、基本構想を具現化するための施策を示すもの

【策定の視点】

- ・ 人口構造の変化を見据え、人口減少対策に焦点を当てた「第2期十日町市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と整合
- ・ SDGsやSociety5.0、関係人口など、新たな時代の潮流を捉え、時代の変化に柔軟に対応



情報の発信力強化と広聴活動の推進

● 市ホームページをリニューアルします。

(新規) 1,700万円

- ・新システムの導入により、市の魅力を集約したシティブロモーションの充実や、新規SNSを取り入れたホームページとの連携を図るなど、情報発信力を強化

【リニューアル内容】

- ・LINE(ライン)やInstagram(インスタグラム)などの新たなSNSの活用
- ・高齢者や障がい者等も閲覧しやすいように配慮
- ・災害時等のアクセス集中に対する対応強化
- ・Jアラートとの連携による災害緊急情報の伝達体制の強化
ほか

イメージ



LINE



Instagram



魅力を積極的に発信し 新たな時代に新たな活力と 人の流れを生み出す



選ばれて住み継がれるまち とおかまち